



case 20 その他両立支援の活動を行う企業

株式会社グローバルステージ

働く母親の実態を発信する傍ら、子育て社員の下でのインターンシップ制度を開始

母親や子どもに関する商品・サービスを扱っている企業などを対象にしたPR・広報・マーケティング事業と並行して、働く母親を支援するプロジェクトを立ち上げました。プロジェクト活動の1つとして、仕事と子育てを両立しながらの就業体験ができるインターンシッププログラムを企画し、学生が長期的視野に立ったワークスタイルを考える機会を提供しています。

企業プロフィール

設立: 2011年4月

本社所在地: 愛知県名古屋市千種区

事業内容: PR・広報活動・マーケティングの企画、制作、実施およびコンサルティング、インターネットを利用したメディア事業、各種研修・セミナー・イベントの企画、制作および実施

会社設立のきっかけは「前向きに、生き生きと働く母親を広報したい」

現在、広報やマーケティング事業を主業務としていますが、それと並行して、働く母親を支援するプロジェクト「キラきゃりママ」を主宰しています。

以前は大手企業で広報の仕事をしていました。結婚直後から自宅のある名古屋から東京への単身赴任生活を続けていましたが、双子の子どもを妊娠。今後の生活のことも考えて退職に至りました。大企業では育児支援制度自体は整えられているものの、どうしても業務優先になる現実があります。女性が出産後も働き続けるためには、制度さえ整えば良いというわけではないと問題意識を持つきっかけとなりました。

その後、広報経験を生かし、個人事業主として仕事をしていたのですが、様々な形で働く母親たちとの出会いがありました。子育てしながら働く母親は大変だと思っていましたが、実際に接すると、ポジティブに元気に働いている

特徴的な制度と取り組み

- 「子育てしながら働く」を学ぶインターンシッププログラム(本文参照)。
- 社会のオピニオンリーダーになるような働く母親のロールモデルを「キラきゃりママモデル」としてポータルサイトで紹介。
- 働く母親のネットワーキングによるプロジェクトメンバー(他業種の任意参加者)を中心に社会貢献プロジェクトを複数運営。



代表取締役
大洲 早生李

人が多いことに気づきました。一方で、2009年の内閣府の調査結果で「必ずしも子どもを持つ必要はない」と回答した20代・30代の女性が多いことにも衝撃を受けました。世の中の考え方と、実際の働く母親たちの姿にギャップを感じたことから、その解消を図ろうと、「働く母親の姿を広報したい」と思ったのが会社設立のきっかけです。

「子育てしながら働く」を学ぶインターンシッププログラムを開始

2011年秋頃から、学生が子育て中の社員の下で就業インターンシップを行うという新たな取組みを自社内から始めました。現在、インターンシップ受入企業は、中小規模の3社(社会保険労務士事務所、メーカー、コンサルティング会社)です。説明会兼ワークショップを行い、プログラムに興味を持つ学生が子育てしながら働くことについて学びを深める機会も設けています。当初プログラム対象として、女子学生を想定していましたが、将来自分も子育てに関わりた、子育てについて考えてみたいという男子学生も参加します。このプログラムは週1~2回、3カ月以上という長期間、子育て中の社員の下で実務を学び、実際にどのように仕事と子育てを両立しているのかを身近に体験することができます。制度の充実した大企業に目を向けがちな学生たちも、中小企業でこのような経験ができることで、就職先として中小企業を視野に入れるなど、企業と学生のミスマッチの解消にもつながると考えています。当社でも、自分自身が3人の子育てをしながら仕事をしていますが、学生インターンの受け入れを随時行い、就業体験の機会を提供しています。

プロジェクトを通じて、働き方の意識も変えていく

インターンシッププログラムなどのプロジェクトを通じて、働く母親だけでなく、日本社会全体としての働き方の意識も変えていきたいと思っています。具体的に、10年以内に達成したい数値目標が2つあります。1つは、先進国の中で日本の男性の育児・家事にかかる時間が最も少ないという調査結果がありますが(日本は週7時間、スウェーデンは20時間以上*)、それを2倍くらいに増やすこと。また、女性については、第1子妊娠で約6割が仕事を辞めると言われていますが**、逆に6~7割が復帰しているような状況になればいいと考えています。

*1 平成22年 イクメンプロジェクト参考資料(厚生労働省)

**2 平成23年版 働く女性の実情(厚生労働省)

インターン生の声

働くママ支援プロジェクトのスタッフとして子育て就業を体験、働く母親の実情を知り、意識が変化



愛知県稲沢市在住
大学4年生
樽田 千波

● 利用した制度: 働くママ支援プロジェクト 「キラきゃりママ」インターン制度

2011年10月~2012年3月に、3人の子育て中の大洲代表のもとで就業体験を行う。ポータルサイト掲載用の原稿チェック・編集・更新作業や、働く母親の取材、働く母親と女子学生を対象としたイベント企画を体験。

● 取得した経緯:

東京で行われた、総合職を目指す女子学生のための団体の講演会に参加した時に、名古屋で女子学生のインターンを探している会社(グローバルステージ)があるとの紹介を受けました。自分の母親からは常々、「女性も働き続けなさい」と言われていたものの、本当に子育てしながら仕事ができるのか不安があった。本格的な就職活動の前に実情を見てみたいと思い、インターンを行うことになりました。通常業務の他に、働くお母さんたちと女子学生による座談会の企画なども経験しました。

子育て就業体験を通じて、周りの協力を得られるのも自分次第だとわかった

子育てしながらの仕事について、当初は不安ばかりでしたが、働くお母さんたちと接すると、皆さん楽しそうに元気が、忙しい中でも時間をつくって、業務のやり取りをされていました。周りの協力を得られるのも自分次第だと感じました。就職活動の最初のころは、企業の育児支援制度なども調べて、すべてそこから始めていました。このインターンシップを通じて、制度も大切ですが、最終的には自分次第だということがわかったので、会社の雰囲気や業務内容で就職先を考えていこうという意識に変わりました。知り合った働くお母さんたちを見習って、仕事を続けていく上での自分自身の強みを見つけないといけないのが次の目標です。



「子育てしながら働く」を学ぶインターンシッププログラム説明会およびワークショップの様子